

【選考理由書】

組織名称：株式会社日立製作所 インフラシステム社 大みか事業所

業種：情報制御システムの設計・開発・製造

従業員数：約 4,100 人

認証取得：ISO 50001 (2012 年)、ISO 14001(1996 年)、ISO 9001(1994 年)

1. 事業特性

設備・機器からプラントエンジニアリング、サービスまでのトータルソリューションの提供によって快適な社会インフラづくりに貢献することを目指しているシステムインフラ社にあって、大みか事業所は、社会・産業分野の情報制御システム（エネルギー監視制御システム、鉄道・道路運行管理システム、上下水道監視制御システム、鉄鋼/化学プラント監視制御システムなど）を設計・製造するマザー工場として位置づけられる。2010 年の猛暑による環境目標未達成を機に、社会インフラを支える事業所としての社会的責任を痛感し、エコファクトリー化計画に取り組んでいる。

2. マネジメントシステムの特徴

第一の特徴は、制御技術と情報管理技術の融合によるスムーズなエネルギー制御と 900 力所におよぶスマートメータや電力センサー設置による徹底した「見える化」の推進である。この結果、太陽光発電量と電力需要量の予測による蓄電池充放電計画の立案、目標電力量との対比による空調機等運転条件の直接制御を実現できている。また、用途別・部署別電力使用量の管理や従業員の努力による省エネ効果の把握が可能となり、環境・エネルギー計画値達成への活性化につながっている。

第二の特徴は、組織横断的な環境・エネルギー管理体制の構築である。各部門が、中期計画の下、年度の部門別環境管理計画に従って活動するとともに、各部門の月毎の目標値の達成状況（未達の大きさ、未達の継続）に応じた対応項目と処置基準を事業所として定め、事業所長が主催するエネルギー委員会等の会議体で報告・検討する仕組みを構築している。さらに、過達した時にも、その理由の分析と以降の計画値の修正を行う仕組みになっており、管理計画の硬直化を回避し、活動が常に活性化するよう工夫している。

第三の特徴は、「見える化」から得られる情報および環境関連情報を次の改善につなぐための充実した従業員教育訓練の実施である。国内外の環境関連法規制と対応等の情報共有を隔月で実施し、環境配慮型設計手法の教育、内部監査員の力量確認や新人監査員の力量向上プログラムを充実させ、「人」の能力と感性の向上を行っている。

3. 成果

結果として、従来 8,000kW であった契約電力を 2012 年度以降 5,700kW まで抑えたこと、エネルギー使用量原単位においては、中期計画の 2012 年度および 2013 年度目標としている対 2005 年度比 28%削減および 38%削減を前倒しで達成し（それぞれ 37%削減および 42%削減）中期計画の 2017 年度削減目標値 48%の達成を確かなものとしている。この電力削減は、CO₂削減にもつながり、各年の CO₂削減計画値の達成につながっている。

以上から、株式会社日立製作所 インフラシステム社 大みか事業所の活動は、事業の特性に応じた特徴のあるマネジメントシステムを構築・運用することで着実な効果をあげており、高く評価できる。